

ゲーム&eスポーツ・オープン

月次レポート
2024年4月30日現在

基準価額と純資産総額

| | |
|-------|----------|
| 基準価額 | 16,503 円 |
| 純資産総額 | 620百万円 |

期間別騰落率

| 期間 | ファンド |
|-----|----------|
| 1カ月 | -0.3 % |
| 3カ月 | +5.0 % |
| 6カ月 | +22.5 % |
| 1年間 | +29.9 % |
| 3年間 | +3.0 % |
| 5年間 | +121.4 % |
| 設定来 | +121.4 % |

基準価額・純資産総額の推移

当初設定日（2019年4月26日）～2024年4月30日



組入上位銘柄

* 比率は、純資産に対するものです。* 一部銘柄の株価騰落率は米国預託証券の騰落率です。

| 1 | 銘柄名／関連事業 | 国・地域 | 比率 | 株価騰落率（参考） | |
|----|---------------------------------------|------|------|-----------|--------|
| | | | | 1ヶ月 | 3ヶ月 |
| 1 | エヌビディア GPU（半導体チップ） | アメリカ | 9.7% | ▲2.9% | +39.8% |
| 2 | 任天堂 ゲームソフト・ハード | 日本 | 9.2% | ▲9.1% | ▲11.3% |
| 3 | AMD（アドバンスト・マイクロ・デバイセズ） GPU（半導体チップ） | アメリカ | 8.2% | ▲11.2% | ▲6.9% |
| 4 | テンセント ゲームソフト・プラットフォーム | 中国 | 8.0% | +14.4% | +27.0% |
| 5 | テイクツー・インタラクティブ ゲームソフト | アメリカ | 6.4% | ▲2.8% | ▲13.6% |
| 6 | ソニーグループ ゲームソフト・ハード | 日本 | 6.0% | +0.8% | ▲10.6% |
| 7 | エレクトロニック・アーツ ゲームソフト | アメリカ | 5.9% | ▲3.6% | ▲6.9% |
| 8 | ネットイース ゲームソフト | 中国 | 5.9% | ▲7.2% | ▲0.0% |
| 9 | アップラビン ゲームアプリ解析 | アメリカ | 5.1% | +5.4% | +71.9% |
| 10 | クラフトン ゲームソフト | 韓国 | 5.0% | ▲4.0% | +9.8% |

（組入銘柄数）

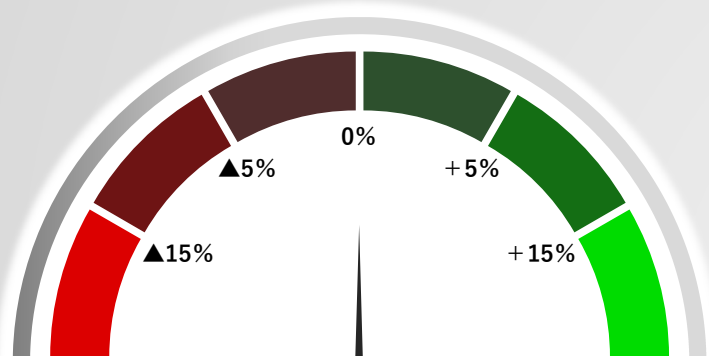
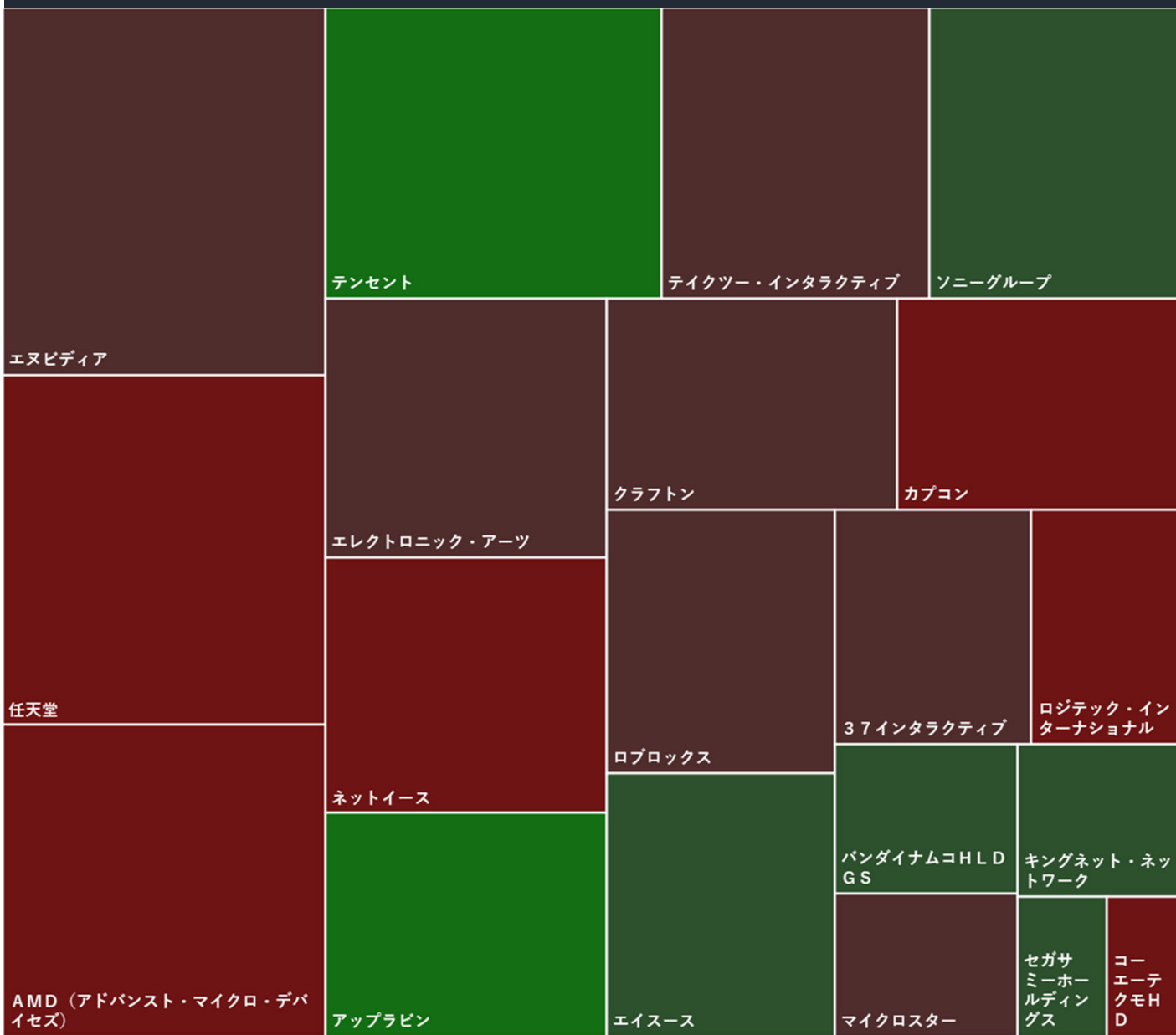
20銘柄

※後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。※「分配金再投資基準価額」は、分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものです。※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。※「株価騰落率」は各銘柄の取引市場の現地通貨ベースのトータルリターンです。海外市場で取引されている銘柄については現地前営業日ベースです。ブルームバーグをもとに当社が計算したもので、配当や株式分割などの影響が正確に調整されていない場合があります。当ファンドへの寄与を示すものではありません。※当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドへの組み入れや今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。※外国株式の国・地域名については、原則としてMSCI Inc.が提供するリスク所在国・地域に基づいて表示しています。

ゲーム&eスポーツ・オープン：組入銘柄の1ヵ月株価騰落率ヒートマップ

(面積：純資産に対する比率をもとに設定、色：1ヵ月の株価騰落率をもとに設定)

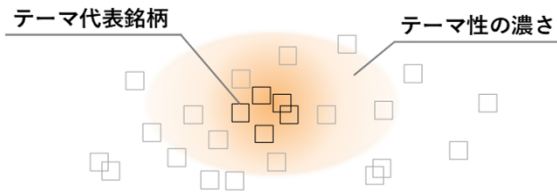
ファンドの1ヵ月騰落率：▲0.3%



※後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。※「株価騰落率」は各銘柄の取引市場の現地通貨ベースのトータルリターンです。海外市場で取引されている銘柄については現地前営業日ベースです。一部銘柄の株価騰落率は米国預託証券の騰落率です。ブルームバーグをもとに当社が計算したもので、配当や株式分割などの影響が正確に調整されていない場合があります。当ファンドへの寄与を示すものではありません。※当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドへの組み入れや今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

世界の「ゲーム & eスポーツ」代表銘柄に投資

図表1：当ファンドの投資イメージ



当ファンドでは、世界の変革をとらえ、未来を見据えた有望なテーマへの投資機会を提供します。当ファンドが投資対象とするテーマは、循環的ではなく「構造的」な成長が見込まれ、長期投資に適したテーマです。

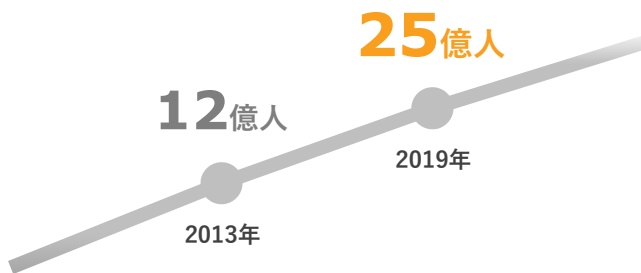
世界の株式市場の中から、テーマ性の濃い優良銘柄を吟味したうえで、テーマ代表銘柄に投資を行います。テーマの成長がより真っ直ぐにファンドの成長につながりやすい点が特徴です。

ゲーム & eスポーツの構造的な成長

ゲーム人口の増加

ゲームは子供から大人まで年齢にかかわらず楽しめる身近な娯楽となりました。また、スマートフォン普及や新興国の人口増加などが世界のゲーム人口増加に大きく貢献しています。

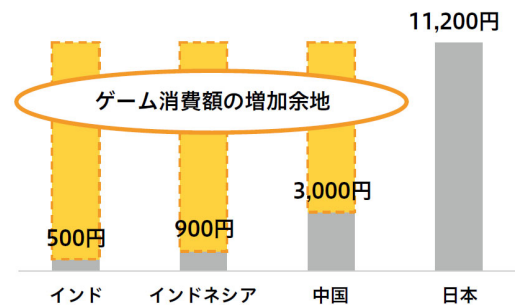
図表2：世界のゲーム人口の推移



ゲーム消費額の増加

新興国の人口一人当たりゲーム消費額は、日本に比べて低位で、高い成長ポテンシャルがあります。経済発展や通信環境改善などを背景に、今後のゲーム消費額の増加が見込まれます。

図表3：年間の人口一人当たりオンラインゲーム消費額（2018年推計）



※1米ドル=110円と仮定し円換算

eスポーツ人気の高まり

海外では競技性の高いゲーム（≒eスポーツ）が熱狂的に支持されており、ゲームをプレーするだけでなく、ゲームの試合などを動画で見るなどの新たな楽しみ方やビジネスが拡大しています。

図表4：eスポーツ大会とNBAのピーク視聴者数



※eスポーツ：LOL Worlds2017 準決勝、バスケットボール：NBAファイナル2017第5戦

コミュニケーションのツールに

コロナ禍で人と人が直接会う機会が減少するなか、コミュニケーションのツールとしてゲームが利用される機会が増加しており、ゲーム市場拡大の追い風となっています。

図表5：ゲームを通じたコミュニケーションのイメージ



※後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。 ※出所 [図表2] Newzoo資料より当社作成、 [図表3] 経済産業省および国連資料より当社作成、 [図表4] 各種大会資料より当社作成。 ※当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドへの組み入れや今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

追加型投信／内外／株式

信託期間：2019年4月26日 から 2029年7月30日 まで

基準日：2024年4月30日

決算日：毎年1月30日および7月30日（休業日の場合翌営業日）

回数コード：3390

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

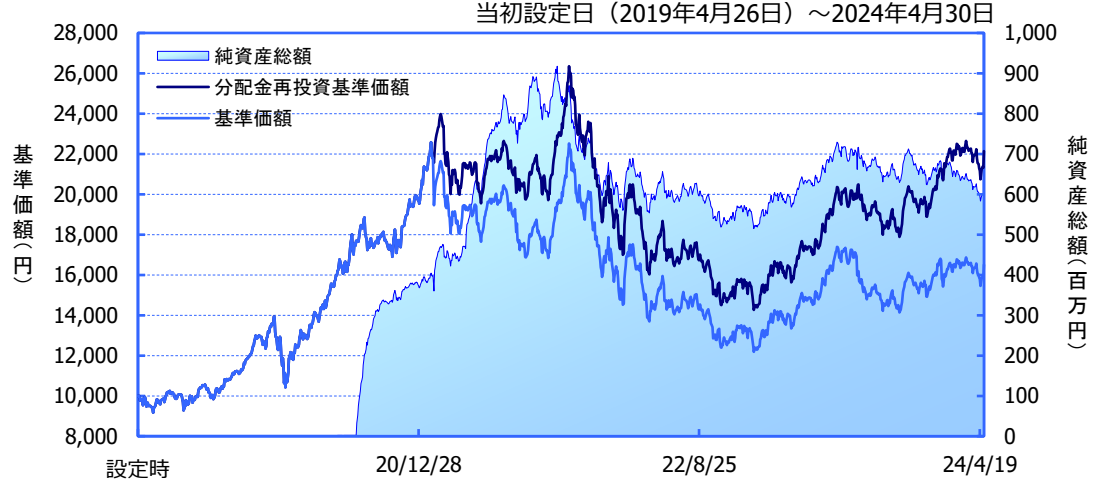
《基準価額・純資産の推移》

2024年4月30日現在

| | |
|-------|----------|
| 基準価額 | 16,503 円 |
| 純資産総額 | 620百万円 |

期間別騰落率

| 期間 | ファンド |
|------|----------|
| 1か月間 | -0.3 % |
| 3か月間 | +5.0 % |
| 6か月間 | +22.5 % |
| 1年間 | +29.9 % |
| 3年間 | +3.0 % |
| 5年間 | +121.4 % |
| 年初来 | +13.5 % |
| 設定来 | +121.4 % |



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
 ※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

《分配の推移》

(1万口当たり、税引前)

| 決算期(年/月) | 分配金 |
|--------------|--------|
| 第1期 (19/07) | 0円 |
| 第2期 (20/01) | 0円 |
| 第3期 (20/07) | 0円 |
| 第4期 (21/02) | 2,100円 |
| 第5期 (21/07) | 1,000円 |
| 第6期 (22/01) | 0円 |
| 第7期 (22/08) | 0円 |
| 第8期 (23/01) | 0円 |
| 第9期 (23/07) | 1,300円 |
| 第10期 (24/01) | 950円 |

分配金合計額 設定来：5,350円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

《主要な資産の状況》

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産別構成

| 資産 | 銘柄数 | 比率 |
|-------------|-----|--------|
| 外国株式 | 15 | 84.2% |
| 国内株式 | 5 | 15.1% |
| コール・ローン、その他 | | 0.7% |
| 合計 | 20 | 100.0% |

国・地域別構成

| 国・地域名 | 比率 |
|-------|-------|
| アメリカ | 40.3% |
| 日本 | 24.3% |
| 中国 | 19.7% |
| 台湾 | 7.0% |
| 韓国 | 5.0% |
| スイス | 2.9% |

通貨別構成

| 通貨 | 比率 |
|----------|-------|
| 米ドル | 52.7% |
| 日本円 | 15.5% |
| 香港ドル | 13.9% |
| 台湾ドル | 7.0% |
| オフショア人民元 | 5.8% |
| 韓国ウォン | 5.0% |
| 英ポンド | 0.0% |
| ユーロ | 0.0% |
| スイス・フラン | 0.0% |
| その他 | 0.0% |

株式業種別構成

| 業種名 | 比率 |
|----------------|-------|
| コミュニケーション・サービス | 57.0% |
| 情報技術 | 33.0% |
| 一般消費財・サービス | 9.3% |

※業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準(GICS)によるものです。

※外国株式の国・地域名については、原則としてMSCI Inc.が提供するリスク所在国・地域に基づいて表示しています。

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。当ファンドの取得をご希望の場合には投資信託説明書(交付目論見書)を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上ご自身でご判断ください。後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。

設定・運用:

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社

加入協会

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

| 組入上位10銘柄 | | | | 合計69.5% |
|-------------------------------|------------------------|----------------|------|---------|
| 銘柄名 | 業種名 | 国・地域名 | 比率 | |
| NVIDIA CORP | エヌビディア | 情報技術 | アメリカ | 9.7% |
| NINTENDO CO LTD-UNSPONS ADR | 任天堂 | コミュニケーション・サービス | 日本 | 9.2% |
| ADVANCED MICRO DEVICES | AMD(アドバンスト・マイクロ・デバイセズ) | 情報技術 | アメリカ | 8.2% |
| TENCENT HOLDINGS LTD | テンセント | コミュニケーション・サービス | 中国 | 8.0% |
| TAKE-TWO INTERACTIVE SOFTWARE | テイクツー・インタラクティブ | コミュニケーション・サービス | アメリカ | 6.4% |
| ソニーグループ | ソニーグループ | 一般消費財・サービス | 日本 | 6.0% |
| ELECTRONIC ARTS INC | エレクトロニック・アーツ | コミュニケーション・サービス | アメリカ | 5.9% |
| NETEASE INC | ネットイース | コミュニケーション・サービス | 中国 | 5.9% |
| APPLOVIN CORP CLASS A | アップラビン | 情報技術 | アメリカ | 5.1% |
| KRAFTON INC | クラフトン | コミュニケーション・サービス | 韓国 | 5.0% |

※比率は、純資産総額に対するものです。

※業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準(GICS)によるものです。

※外国株式の国・地域名については、原則としてMSCI Inc.が提供するリスク所在国・地域に基づいて表示しています。

<ご参考> 組入上位10銘柄の株価騰落率(現地通貨ベース、1カ月)

| 銘柄名 | 株価騰落率 |
|------------------------|--------|
| エヌビディア | -2.9% |
| 任天堂 | -9.1% |
| AMD(アドバンスト・マイクロ・デバイセズ) | -11.2% |
| テンセント | +14.4% |
| テイクツー・インタラクティブ | -2.8% |
| ソニーグループ | +0.8% |
| エレクトロニック・アーツ | -3.6% |
| ネットイース | -7.2% |
| アップラビン | +5.4% |
| クラフトン | -4.0% |

※一部銘柄の株価騰落率は米国預託証券の騰落率です。

※「株価騰落率」は各銘柄の取引市場の現地通貨ベースのトータルリターンです。海外市場で取引されている銘柄については現地前営業日ベースです。ブルームバーグをもとに当社が計算したもので、配当や株式分割などの影響が正確に調整されていない場合があります。当ファンドへの寄与を示すものではありません。

<<ファンドマネージャーのコメント>>

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

【ファンドの運用状況】

ファンドの月間騰落率はマイナスとなりました。株式はマイナス要因となりました。米国の消費者物価指数などの経済指標が市場予想を上回ったことやパウエルFRB(米国連邦準備制度理事会)議長を含む複数のFRB高官が利下げに慎重な発言をしたことなどを受けて利下げ期待が後退したことや、中東情勢への懸念が高まったことなどがマイナス要因となり、世界株式市場は下落しました。個別銘柄では、GPU(半導体チップ)関連事業を手がけるアメリカのAMD(アドバンスト・マイクロ・デバイセズ)や、ゲームソフト・ハード関連事業を手がける日本の任天堂などが下落しました。為替は米ドルなどが円に対して上昇したことからプラス要因となりました。

《ファンドの目的・特色》

ファンドの目的

- ・日本を含む世界の「ゲームおよびeスポーツ」関連株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

- ・日本を含む世界の「ゲームおよびeスポーツ」関連株式に投資します。

《投資リスク》

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。**基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

| | |
|--------------------------|---|
| 株価の変動 (価格変動リスク・信用リスク) | 株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。 新興国の証券市場は、先進国の証券市場に比べ、一般に市場規模や取引量が小さく、流動性が低いことにより本来想定される投資価値とは乖離した価格水準で取引される場合もあるなど、価格の変動性が大きくなる傾向が考えられます。 当ファンドは、一銘柄当たりの組入比率が高くなる場合があり、より多数の銘柄に分散投資した場合に比べて基準価額の変動が大きくなる可能性があります。 また、特定の分野に関連する銘柄に投資しますので、こうした銘柄の下落局面では、基準価額が大きく下落することがあります。 |
| 為替変動リスク | 外貨建資産については、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。 特に、新興国の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。 |
| カントリー・リスク | 投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。 新興国への投資には、先進国と比べて大きなカントリー・リスクが伴います。 中国へ投資する場合には、政策の変更等により株式市場や為替市場に及ぼす影響が先進国以上に大きいものになることが考えられます。 |
| その他 | 解約資金を手当てするため組入証券を売却する際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。 |

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。

《ファンドの費用》

| 投資者が直接的に負担する費用 | | |
|---------------------|---|---|
| | 料率等 | 費用の内容 |
| 購入時手数料 | 販売会社が別に定める率 (上限) 3.3%(税抜3.0%) | 購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。 |
| 信託財産留保額 | ありません。 | — |
| 投資者が信託財産で間接的に負担する費用 | | |
| | 料率等 | 費用の内容 |
| 運用管理費用 (信託報酬) | 年率1.408% (税抜1.28%) | 運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。 |
| 配分 (税抜) (注1) | 委託会社 | 年率0.55% |
| | 販売会社 | 年率0.70% |
| | 受託会社 | 年率0.03% |
| その他の費用・ 手数料 | (注2) | 監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 |

(注1)「運用管理費用の配分」には、別途消費税率を乗じた額がかかります。

(注2)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

※運用管理費用の信託財産からの支払いは、毎計算期末または信託終了時に行なわれます。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

| | |
|------------------------|--|
| 購入単位 | 最低単位を 1 円単位または 1 口単位として販売会社が定める単位 |
| 購入価額 | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額（1 万円当たり） |
| 購入代金 | 販売会社が定める期日までにお支払い下さい。 |
| 換金単位 | 最低単位を 1 口単位として販売会社が定める単位 |
| 換金価額 | 換金申込受付日の翌営業日の基準価額（1 万円当たり） |
| 換金代金 | 原則として換金申込受付日から起算して 5 営業日目からお支払いします。 |
| 申込受付中止日 | ① ニューヨーク証券取引所または香港証券取引所のいずれかの休業日 ② ①のほか、一部解約金の支払い等に支障を来すおそれがあるとして委託会社が定める日 （注）申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。 |
| 申込締切時間 | 午後 3 時まで（販売会社所定の事務手続きが完了したもの） |
| 換金制限 | 信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込みには制限があります。 |
| 購入・換金申込受付 の中止および取消し | 金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入、換金の申込みの受け付けを中止すること、すでに受け付けた購入、換金の申込みを取消すことがあります。 |
| 繰上償還 | 次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させること（繰上償還）ができます。 ● 受益権の口数が 30 億口を下ることとなった場合 ● 信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき ● やむを得ない事情が発生したとき |
| 収益分配 | 年 2 回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。 （注）当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。なお、お取扱い可能なコースおよびコース名については異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。 |
| 課税関係 | 課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に NISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。 当ファンドは、NISA の対象ではありません。 ※税法が改正された場合等には変更される場合があります。 |

◀ 当資料のお取り扱いにおけるご注意 ▶

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
- 分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ

▶ **大和アセットマネジメント** フリーダイヤル 0120-106212（営業日の9:00～17:00）

当社ホームページ

▶ <https://www.daiwa-am.co.jp/>

ゲーム&eスポーツ・オープン

| 販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名） | | 登録番号 | 加入協会 | | | |
|--------------------------------|--------|----------------|---------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|
| | | | 日本証券業協会 | 一般社団法人 金融先物 取引業協会 | 一般社団法人 日本投資 顧問業協会 | 一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会 |
| おかやま信用金庫 | 登録金融機関 | 中国財務局長(登金)第19号 | ○ | | | |
| 株式会社宮崎銀行 | 登録金融機関 | 九州財務局長(登金)第5号 | ○ | | | |

上記の販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によって、新規のご購入の取扱いを行っていない場合や、お申込み方法・条件等が異なります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。